

インフルエンザが流行しています。

2015.01.31

函館市内近郊は、12月末よりインフルエンザの流行が始まり、冬休み中は学童や保育園を中心にくすぶりながらぼつぼつという感じでしたが、冬休み明けから、一気に流行が始まりました。

今年のインフルエンザの流行はA香港型が大勢を占めています。全国のインフルエンザウイルス検出情報を見ても、そのほとんどがA香港型で H1pdm2009 と呼ばれる（昔でいうソ連型です）ものや B 型はほとんど見受けられません。函館近郊でもおそらく同じ傾向であろうと思われます。

昨年は、インフルエンザの有効性が例年になく高い状態でしたが、今年は現在のところワクチンの有効性はあまり感じ取れません。つまり効いていないということです。

しかし、子供たちの回復ぶりを見ていると、そのほとんどが軽症で、インフルエンザ薬を使っても使わなくても3日目までにはほとんど解熱しているというのが実態のようです。発熱とともに、下痢や嘔吐が強いお子さんも少数いますが、全体としては比較的軽症と考えていいでしょう。

しかし、インフルエンザの薬を使って熱が下がったとはいっても発熱から5日間はインフルエンザのウイルスをほかの人に感染させる力を持っています。熱が下がったさあ学校にではなく、かかりつけの先生に言われた休みの期間はぜひ守ってください。あなたのお子さんがなんともなくても、うつされたお子さんが軽症であるという保証はどこにもないというのが感染症の鉄則です。どうか、自分もとより、周りの子どもたちからもインフルエンザで脳症になったり、命を落としたりということがないように気配りをいただけたらと思います。

毎年、A型の流行の後にはB型の流行も控えています。インフルエンザが流行している間は不要な外出は避け、体調管理に万全を期してください。これからの受験シーズン、皆さんが安心して試験に臨めるように、流行が早く収まるようひとりひとりが人に移さない視点で思いやりが持てるといいですね。